

■池玉瀾 画家。池大雅の妻。夫唱婦隨で奇行逸話多数。

いけのぎよくらん

・・・・・・1727= この頃、京都に生れ、名を町といった。玉欄、遊雅(可)、松風、葛草居とも号した。父は江戸の浪士徳山氏。母は歌人として知られる砥園茶屋の百合女。祖母は梶女でやはり歌人で歌集「梶の葉」がある。

享保大飢饉・1732= 5歳 :

悪鋳再開・・・・1736= 9歳 :

梅岩没・・・・1744=17歳 : *池大雅がまだ画名のあがらない21歳ごろ、紙園下のほとりで蓆席を設けて道行く人に画を売っていた。近くの真葛原で松屋という茶店を出していた町の母百合が、大雅の異才を知って娘の婿にたってほしいと頼んだ。大雅は承知したが、町はまだ子供である。そこで7年ほど諸国を遍歴してくることを約し、百合から路銀を貰って旅に出た。

徳川吉宗隠居1745=18歳 :

_7年の間に60余州を歩き、腕をみがいて帰洛し、

徳川吉宗没・1751=24歳 : *池大雅と婚儀をあげた。

山脇東洋解剖1754=27歳 : 母百合が死去。百合には歌集「佐遊李葉」がある。

玉欄は夫とともに柳沢棋園(里恭)に画を学び、大雅に似ていたので「大雅風」といわれた。山水花升を好んで描いた。和歌は冷泉門に学び、遊可の名を貰った。夫婦仲がよく、終日夫妻とも紙を広げ、墨をすり、琴酒ともに楽しむ生活ぶり、奇行や逸話が多い。

大岡忠光没・1760=33歳 :

・・・・・・1763=36歳 :

田沼意次老中1772=45歳 :

雨月物語刊・1776=49歳 : *夫大雅が死去したが、「翁草」には、「寡婦の後も扇の画を書販ぎて世を渡れり」と記している。

・・・・・・1781=54歳 :

意知刺殺事件1784=57歳 :

没した。代表作は「滝山水図」「溪亭吟詩図」など。没した年齢は、56歳、61歳説などがある。